

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(1月分)

(財)日本木材総合情報センター
TEL:03-3816-5595 FAX:3816-5062

1. 調査実施期間 平成14年 12月20日 ~ 15年1月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

1月分の回答企業数は19社、回収率は15%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight.D.I.

		15/1月	2月	3月
仕入動向	国産材	32.1	11.5	15.4
	外材	25.0	13.3	3.3
販売動向	国産材	39.3	3.8	11.5
	外材	37.5	3.3	6.7
在庫動向	国産材	28.6	15.4	26.9
	外材	21.9	20.0	20.0

仕入、販売とも状況判断はマイナス基調である。1月は稼働日数が少ないため、マイナス幅は大きい。2、3月は小さくなっている。なお、2月に国産材の販売が若干プラスに転じている。

在庫状況判断もマイナス基調が続いている。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight.D.I.

品目	15/1月	2月	3月
スギ正角(グリーン)	5.6	0.0	0.0
スギ正角(KD)	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角	0.0	5.0	5.0
ヒノキ土台角	5.0	5.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	7.1	7.1	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	7.1	14.3	7.1
米マツ平角	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	25.0	0.0	8.3
ホワイトウッド集成管柱	7.1	14.3	14.3
レッドウッド集成平角	0.0	10.0	0.0
型枠合板(国産)	12.5	12.5	12.5
型枠合板(輸入)	50.0	12.5	12.5
針葉樹合板	0.0	16.7	16.7

国産材では、ヒノキ柱、土台角が2月に若干プラス。外材では米ツガ正角、割物がマイナス基調。北洋アカマツタルキは1月のプラス幅は大きい。3月はややマイナスに転じている。WW集成管柱はマイナス基調が続いている。

型枠合板は国産、輸入ともマイナス基調である。とくに輸入品は1月に大幅なマイナスとなっている。針葉樹合板は品薄感があり、先行き2、3月はプラスに転じている。